

ハンドボール No. 6

Japan
Handball
Association

<input type="checkbox"/>	社会人
<input type="checkbox"/>	学生
<input type="checkbox"/>	高専
<input checked="" type="checkbox"/>	高体連
<input type="checkbox"/>	中体連
<input type="checkbox"/>	小学生
<input type="checkbox"/>	県協会

<input checked="" type="checkbox"/>	全国大会
<input type="checkbox"/>	ブロック大会
<input type="checkbox"/>	都道府県大会
<input type="checkbox"/>	地区大会

<input type="checkbox"/>	男子
<input checked="" type="checkbox"/>	女子

試合 番号	市-女41
----------	-------

年月日	2021年8月19日(木)
大会名	令和3年度全国高等学校ハンドボール連合会大会 福井県選抜大会72回日本高等学校ハンドボール連合会大会

公式記録用紙

A 名古屋経済大学市邨高等学校					横浜創英高等学校					B					
都道府県 福井県		市町村 福井市		会場 福井市体育館						回戦 準々決勝					
前半	A 11	B 8	最終 結果	A 27	B 17	第1 延長	A	B	第2 延長	A	B	7mTC	A	B	
7m得点/総数		A 1/1		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B 2/3		7m得点/総数			
		1		2 後半		3		1		2 後半		3			
		2133		2355		2648		1320		1102		2523			

No.	市邨高校	G	W	2	D	DR	No.	横浜創英高校	G	W	2	D	DR
1	奥山 寧々						2	澤島 瑠衣	1				
2	山口 杜子	5					3	石田 紗瑛	2				
3	井上 あすか						4	石田 菜帆					
4	白木 千奈理	1					5	鈴木 雪那					
5	杉浦 葵						6	田城 雛菜	4				
7	北野 未来	3					7 c	坂上 彌真	4				
8	池戸 花奈						8	須川 菜帆夏					
9	浅野 春陽						10	堤 愛渚	5				
10	葛谷 美樺	1					12	川島 明日香					
11 c	水谷 朱里	8	1				13	江成 彩音	1				
12	榎本 美佑						16	西丸 未菜					
13	平生 遥						17	石井 陽菜花					
18	杉浦 亜優		1				18	原岡 萌絵					
19	関 紗弥	9					11	渡部 真優					
役員A	浅野 清隆						役員A	小池 礼一		1			
役員B	神谷 信輝						役員B	滝口 恵子					
役員C	池 杏菜						役員C	上原 陵					
役員D							役員D						

A	浅野 清隆	チーム役員A署名		B
---	-------	----------	--	---

レフェリー	鶴野 裕基	高橋 知混	鶴野 裕基	高橋 知混
T D	仲野 数也	村田 竜馬	仲野 数也	村田 竜馬
M O	中山 学		中山 学	

得点(G), 警告 (W), 退場(2), 失格(D), 報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

ハンドボール No. 8

令和3年度全国高等学校総合体育大会
高松宮記念杯第72回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

戦評

開催日	2021年 8月19日 木曜
会場	福井市営体育館
種別	女子
回戦	準々決勝

スコア	チーム名	総得点	前半	総得点	チーム名
		市邨高校	27	11-8 後半 16-9	17
	第1延長		第2延長		7 MC
	-		-		-
	-		-		-

※第1延長・第2延長及び7 MCの得点は総得点に加算してください。

戦評	前半	選抜大会優勝の市邨高校と神奈川県代表の横浜創英高校の試合は、横浜創英高校のスローオフで始まる。横浜創英高校は、⑦坂上のポストシュートで先制すると、市邨高校も⑩関のサイドシュートで取り返す。市邨高校は、⑪センターの水谷を中心に何度もノーマークを作り出すも、横浜創英高校⑩西丸の好セーブに阻まれる。一方で、横浜創英高校は、ポストを中心に攻撃を組み立て、加点していき横浜創英高校がリードする展開となる。その後、両チームミスが続き、リズムに乗り切れない時間が続いたが、前半終了間際に速攻を中心に連続得点した市邨高校が逆転に成功し、11-8と市邨高校の3点リードで前半を終える。
	後半	後半開始10分間は、市邨高校は②山口のカットイン・⑪水谷のロングシュートを中心に、横浜創英高校は速攻を中心に加点していき、一進一退の攻防が続く。横浜創英高校もコンビプレーからノーマークを作り出し加点していくも、市邨高校⑦北野らの勢いは増していき、徐々に点差が開く展開となる。市邨高校⑩関の速攻が連続で決まり、25-17とリードが開いたところで、横浜創英高校はタイムアウトを請求する。その後も、横浜創英高校の気迫あるDFが続くも、点差は広がっていき、27-17で市邨高校が勝利し、準決勝に進出を決めた。

記入者	藤坂 幸輝
-----	-------